

ときつちょう うちどく すいしん
時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

(高学年) 2022年 夏号



発行：時津町立時津図書館

うちどく 家読とは

かぞく みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく(家読)」です。
むづか 難しいルールは要りません。
かぞく みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

かぞく 同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



Illustrator ATSUKO



『プーさんの戦争 世界一有名なクマのお話』

リンジー・マティック、ジョシュ・グリーンハット/文
ソフィー・ブラッコール/絵 山口 文生/訳 (評論社)

いま 世界中で愛される「くまのプーさん」にはモデルがいた。ひとりの獣医と出会い、カナダ軍のマスコットとなった子ぐま。やがて戦地に向かう獣医は子ぐまを戦場にはつれていけないと、動物園に預けることにした。

獣医のひ孫がつづる「プーさん」秘話。



『パパはカッパか!?』

中山 聖子/作 下平 けーすけ/絵
(文研出版)

頭のてっぺんの髪がうすいパパ。リコがからかうと、「カッパの皿だ」と言い出した。そういえば、パパの田舎にはカッパ伝説があり、池のほとりにあるカッパの石像はなんだかパパに似ている気がする。パパはほんとうにカッパなの!?

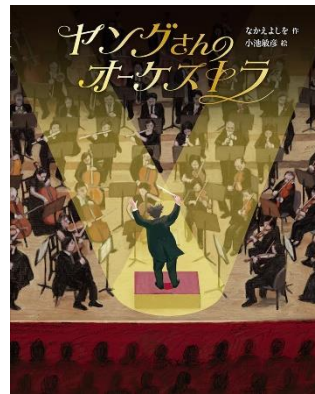


『きめつけないで! 「女らしさ」「男らしさ」 ～みんなを自由にするジェンダー平等～』

全3巻

治部 れんげ/著 小林 裕美子/イラスト・マンガ
(汐文社)

「男の子なんだから、泣かないの」とか「女の子なんだからおとなしくしてなさい」とか言われたことない? どうしてなの? 男の子だって悲しい時は泣くし、女の子だってうれしい時は大はしゃぎしたい。もっと自由でいいはず! みんなはどう思う?



『ヤングさんのオーケストラ』

なかえ よしを/作 小池 敏彦/絵 (ポプラ社)

ヤングさんは有名な指揮者。あるとき、「ヤングさんが音楽家を目指したきっかけは?」と聞かれ、「さて、何だったかな?」と考えました。あれだったかな? これだったかな? と考えていくうちに、ヤングさんはある大切な約束を思い出しました。その約束というのは…。

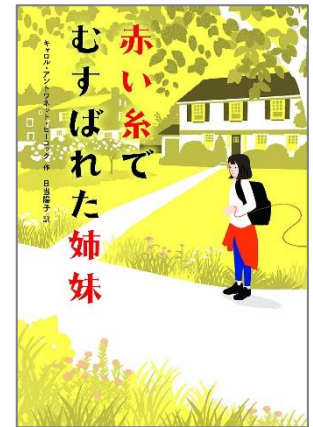


『おとなってこまっちゃう』

ハビエル・マルピカ/作 宇野 和美/訳 山本 美希/絵
(偕成社)

ママが朝からすごく機嫌がわるい。原因はおじいちゃんだ。昨日の夜、おじいちゃんがうちに来て「結婚することにした」と言い出したから。もちろん私だけは大賛成だったけど…。

おとなっていろんな意見があってめんどうくさい! ほ~んと、おとなってこまっちゃう!



『赤い糸でむすばれた姉妹』

キャロル・アントワネット・ピーコック/作
日当 陽子/訳 野田 あい/絵
(フレーベル館)

幼いころ親に捨てられ、養護施設で育ったウェンはシューリンと大の仲良し。ずっとシューリンといっしょなら、さびしくなんかないと思っていた。ところが、ウェンにアメリカ人夫婦との養子縁組が決まり、二人ははなればなれに。ずっと支えあってきたのに、その別れはあまりにもつらすぎるものだった。